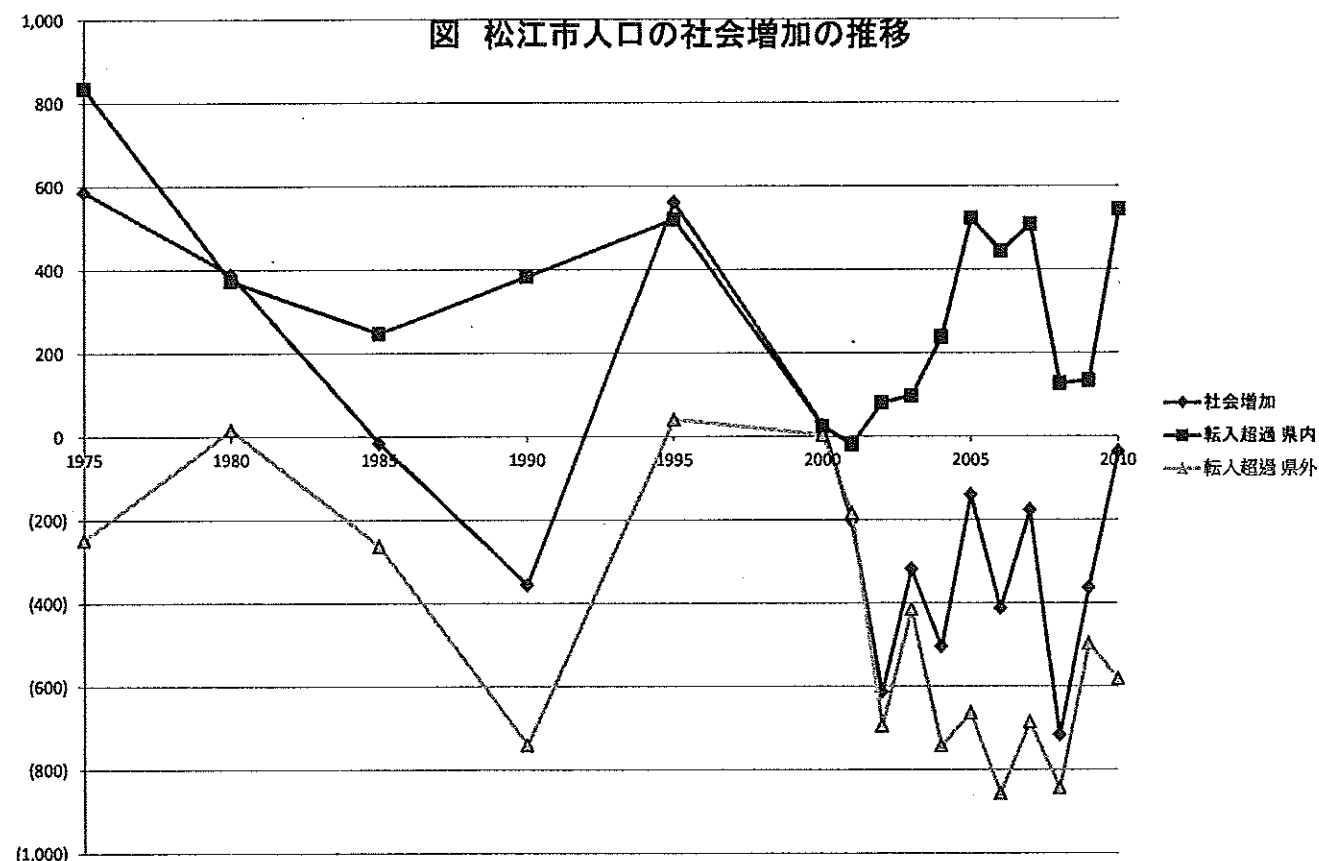




17

対策に向けて

・吉川徹2001『学歴社会のローカル・トラック—地方からの大学進学』世界思想社
大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授, 松江南高校出身

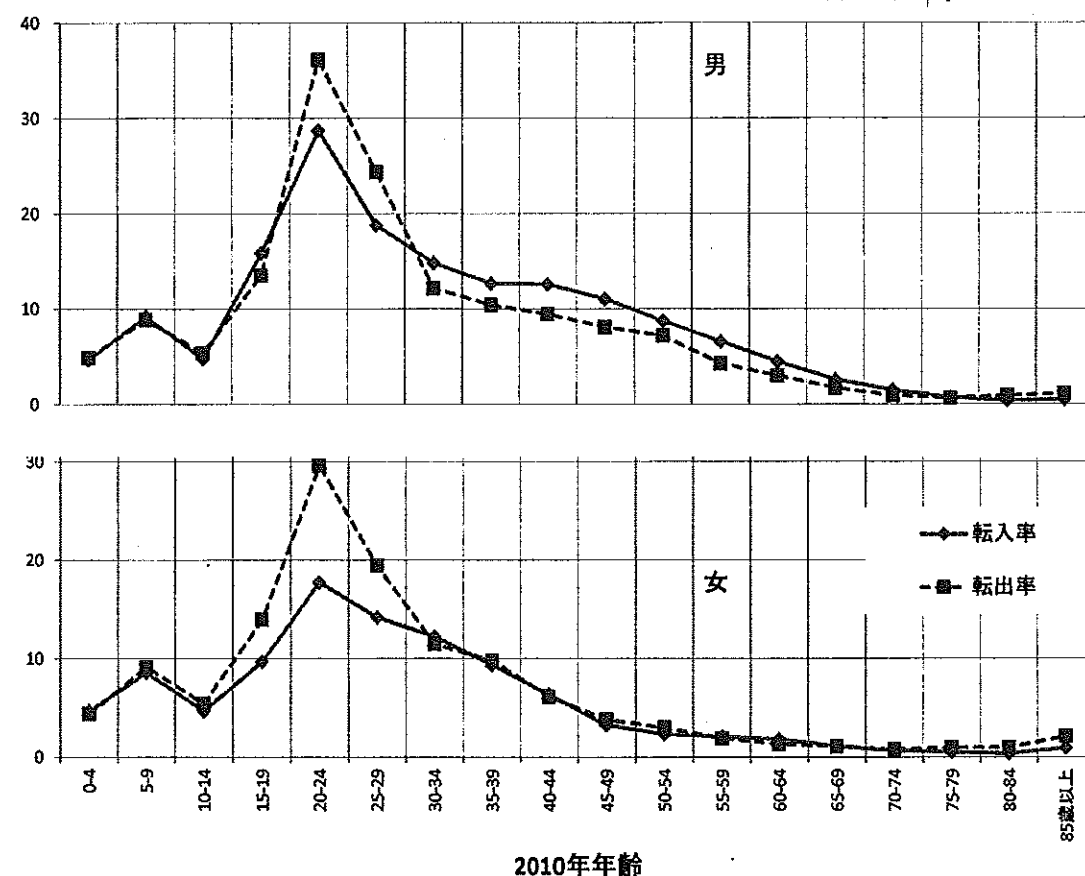
島根県の県立学校再編成基本計画に関連して「この計画に示されているとおり, 少子高齢化時代の今こそ, 地方からのエリート層流出について, その流れの方向と強さを真摯に考え, 制御するときのように思われる。」

「それぞれの地方県に固有の教育政策と人口流出対策があるはずである。...若年層の県外流出を取りまく「環境問題」のアセスメントを実施しなければ, たいへんなことになりそうな地方県はいくつもあるのではないだろうか？」

19

図 松江市の県外転入率, 転出率

2005-2010年 国勢調査2010年による



18

廣嶋清志2011「地域人口政策と地域社会の持続可能性」吉田良生・廣嶋編『人口減少時代の地域政策』原書房, 2011年3月, 217-248.

「大学進学率が50%を超えた今日, 大学進学に関連する移動行動を地域人口の維持・確保地域人口の維持・確保の観点から人口移動政策の対象と考える意義はますます高まっている。」

「進学・就職に際しての移動はその収容力と移動者の意思決定の2側面から決められ, 前者については従来でも地方における大学の設置とか地域の産業の創設などとして政策が考えられてきたが, 後者については従来あまり政策の対象と考えてこなかったと思われる。」

「人々は地域社会の中で生まれ, 育ち, 学校と家庭の中で教育受け成長していく, その中でその後の労働, 高等教育, 居住の場を選択するという移動行動も形成されていると考えられる。」

「こうした各個人の地域生活様式を考える新たな運動や政策は, 近年提唱されている地域学習や地産地消あるいは食育の動きとも連動する側面があると思われる。地域人口政策はこのような動きを含むことが必要とされていると考えられる。」

20

